

【おもてなし】

「おもてなし作品制作ワークショップ」の実施

APEC横浜開催について、市民の皆様に親しみ、理解を深めていただくとともに、「おもてなし」の気持ちを持って会議関係者を迎えるための作品を作るワークショップを実施しました。多くの市民の皆様に参加していただけるよう、ワークショップは「誰でも・気軽に・短時間で」参加できるものとなりました。

【実施日】 平成22年7月19日(月・祝)～平成22年9月11日(土)

【実施場所】 市内各地(計10回)

【参加人数】 約3,000名

1 実施日時

日付	時間	場所
7 / 19 (月・祝)	12:00～17:00	横浜赤レンガ倉庫1号館1階
7 / 24 (土)	10:00～18:00	パシフィコ横浜「サマーコンファレンス2010」内
7 / 25 (日)	10:00～12:00	パシフィコ横浜「サマーコンファレンス2010」内
7 / 31 (土)	12:00～17:00	ウイング上大岡2階ガーデンコート
8 / 7 (土)	10:00～15:00	よこはま動物園ズーラシア
8 / 14 (土)	11:00～16:00	日本丸メモリアルパーク
8 / 21 (土)	12:00～17:00	戸塚駅東口ペDESTリアンデッキ
8 / 22 (日)	12:00～17:00	青葉台東急スクエア South-1 本館アトリウム
8 / 28 (土)	10:00～15:00	横浜・八景島シーパラダイスアクアミュージアム前広場
9 / 11 (土)	12:00～17:00	黄金町バザール

2 フォトモザイク用の笑顔の写真の撮影

- (1) 笑顔の写真を撮影し、その写真をもとにAPEC参加国・地域ごとに世界遺産や観光地などの景勝地を表すフォトモザイクを作成しました。
- (2) 1回のワークショップで2つの国・地域分の写真を撮影しました。(第1回のみ3つの国・地域分)
- (3) 特別編として、市庁舎でも写真撮影を実施しました。(8月31日(火))
- (4) APEC横浜開催PR大使である横浜ベイスターズ、横浜F・マリノス、横浜FCの所属選手にも参加いただきました。

3 APEC ウェルカムボードの作成

- (1) 参加者に横浜のロゴマークに色を塗ってもらい、「Welcome to Yokohama」の文字になるよう貼りつけてもらうことで作成しました。
- (2) 1回のワークショップで1枚作成し、計10枚のウェルカムボードを作成しました。
- (3) 作成補助として、トリエンナーレ・サポーターにご協力いただきました。



笑顔で写真を撮る参加者



完成した APEC ウェルカムボード



7月31日 ウィング上大岡



8月28日 横浜・八景島シーパラダイス



ロゴマークに色を塗っている様子



ウェルカムボードを作成

1 概要

2 横浜市の取組

3 資料

4 作品の展示

(1) フォトモザイク

APEC 横浜開催記念イベントで披露した後、APEC 横浜開催期間中は会議関係者にご覧いただけるよう、パシフィコ横浜会議センター2階に展示しました。

(2) APEC ウェルカムボード

APEC 横浜開催記念イベントで披露した後、APEC 横浜開催期間中は各インフォメーションデスクで掲出しました。(96ページの「インフォメーションデスクの設置」参照)



パシフィコ横浜での展示



会議関係者にフォトモザイクを説明



記念撮影する会議関係者



コラム

市民と子どもの力による「APEC 横浜開催のカーボン・オフセット」

APEC 横浜の開催期間中（11月7日(日)～14日(日)）の会議場（パシフィコ横浜）と会議場周辺のホテルでの電力・ガス・水などの使用に伴うCO₂排出量について、横浜市オフィシャル・ウォーター「はまっ子どうし The Water」の販売本数と、横浜市内の小学生等による「環境絵日記」の応募作品数に応じて、クリーン開発メカニズム(CDM) プロジェクトにより発行された京都メカニズムクレジット（CER：認証排出削減量）を購入し、777トン分のCO₂をカーボン・オフセットしました。

※「カーボン・オフセット」

自らの温室効果ガスの排出量を認識し、排出量を削減する努力を行ったうえで、削減が困難な部分の排出量について他の場所で実現した排出削減量等を購入したり、他の場所で排出削減等を実施することをいいます。

(1) 「はまっ子どうし The Water」

7月～11月の販売本数に応じて、売上げの一部で1本につき1kg分のCO₂のクレジットを購入しました。約76万2千本の販売により762トン分のCO₂をオフセットできました。

「はまっ子どうし The Water」は、会議場やメディアセンターで配布され、多くの会議関係者へのPRにつながりました。

(2) 「環境絵日記」

環境絵日記実行委員会が費用負担し、応募作品1枚につき1kg分のCO₂のクレジットを購入しました。約1万5千作品の応募により15トン分のCO₂をオフセットできました。

※「環境絵日記実行委員会」

横浜市資源リサイクル事業協同組合、富士ゼロックス株式会社、日本財団CANPANプロジェクト等により構成

(3) APEC 横浜開催に伴う温室効果ガス排出量の算定調査

市内都筑区にキャンパスを構える東京都市大学環境情報学部の伊坪徳宏准教授の協力のもとで実施しました。



市長定例記者会見（平成 22 年 7 月 14 日）



APEC での「はまっ子どうし The Water」提供風景



「環境絵日記」表彰式・作品展

市民や事業者によるクリーンアップ活動

来浜する会議関係者の皆様に気持ち良く過ごしていただけるよう、おもてなしの気持ちを込めて、市民や事業者の皆様とともに会議会場周辺でクリーンアップ（清掃）活動を実施しました。

1 ウェルカム APEC クリーンアップ！

- 【実施日】 平成22年10月23日（土）
【実施場所】 みなとみらい21地区周辺
【主催】 横浜市（西区、中区、APEC・創造都市事業本部、資源循環局）
【共催】 I LOVE YOKOHAMA
【参加人数】 1,200名
【内容】 (1) 開会式

時間：9：00～9：25

場所：JR桜木町駅前イベント広場

出席者：山田副市長 他

(2) クリーンアップ活動

時間：9：25～11：00

場所：みなとみらい21地区周辺

内容：まち歩き清掃

JR桜木町駅前を起点とし、
横浜駅東口、山下公園をゴール
として計16コースに分かれ、
清掃活動

その他：参加者全員にオリジナル
キャップを進呈

※同様に、横浜駅周辺でもクリーンアップ
活動を同時実施



山田副市長挨拶



参加者記念撮影（清掃前）



JR桜木町駅前でのまち歩き清掃の様子



まち歩き清掃の様子



参加者記念撮影（清掃後）

2 (社) 横浜建設業協会 APEC 会場周辺 クリーンアップ大作戦

- 【実施日時】 平成22年10月15日（金）
9:30～11:30
- 【実施場所】 みなとみらい21中央地区
- 【実施者】 社団法人横浜建設業協会
- 【活動内容】 清掃活動、歩道上のガム取り作業
- 【参加人数】 約300名



みなとみらい大通りでのガム取り作業

3 地元企業による清掃活動

- 【実施日】 平成22年10月12日（火）～29日（金）
- 【実施場所】 新港パーク・赤レンガパーク周辺、
関内駅周辺、桜木町駅周辺
- 【実施者】 岡部産業株式会社
- 【活動内容】 落書き消し、草刈り、ごみ拾い作業



国際橋での落書き消し作業

街の装飾

APEC横浜開催を市民の皆様に広く周知し、街の歓迎機運を盛り上げるとともに、会議関係者をおもてなしするため、バナーフラッグ、横断幕をはじめとする街の装飾を行いました。

特に、リーダーズウィーク期間中、首脳会議等の会場となったパシフィコ横浜周辺には、約390枚のバナーフラッグを掲出しました。

バナーフラッグ、横断幕等掲出場所一覧

掲出場所		掲出期間
桜木町駅前	桜木町駅前広場（ハンギングフラワー、フラッグ）	11/1～11/14
	クロスゲート（大懸垂幕）	4/29～11/14
	動く歩道（横断幕、懸垂幕、フラッグ）	11/1～11/14※
みなとみらい地区	ランドマークプラザ（フラッグ）	11/1～11/14
	クイーンズスクエア（大懸垂幕、フラッグ、ハンギングフラワー）	9/15～11/14※
	パシフィコ横浜周辺：みなとみらい大通り～国際大通り（フラッグ）	11/1～11/14
	UR都市機構仮囲い装飾	11/1～11/14
	グランモール公園美術の広場ライティング	11/5～2/28
みなとみらい線	みなとみらい駅（フラッグ、横断幕）	9/2～11/14
	馬車道駅（大懸垂幕、横断幕）	9/2～11/14
横浜駅東口	新都市プラザ（懸垂幕）	9/1～11/14
	ポルタ（フラッグ）	11/1～11/14
横浜駅西口	ジョイナス（フラッグ）、高島屋（フラッグ）、横浜シアル（フラッグ、懸垂幕）、ザ・ダイヤモンド（ポスター）	9/15～11/10※
JR	横浜駅（ホーム階段外壁面シート、デジタルポスター）	10/25～11/14
京浜急行線	横浜駅、上大岡駅、金沢文庫駅、金沢八景駅（横断幕）	10/1～11/14
市庁舎周辺	カウントダウンボード、横断幕	平成21年11/13～平成22年11/14
	大看板、くすのき広場（フラッグ）	平成21年12/28～平成22年11/14
区庁舎（18区）	横断幕	2/10～11/14

※動く歩道（懸垂幕：左側）は、3月1日（月）から掲出

※クイーンズスクエア（ハンギングフラワー）は、11月1日（月）から掲出

※ザ・ダイヤモンド（ポスター）は、11月14日（日）まで掲出

街の装飾にご協力いただいた団体（50音順）

（株）テーオーシーディレクション、横浜駅西口振興協議会、横浜駅東口振興協議会、（社）横浜市造園協会、（社）横浜市電設協会、一般社団法人 横浜みなとみらい21、UR都市機構



【桜木町駅前】



桜木町駅前広場（ハンギングフラワー、フラッグ）



クロスゲート（大懸垂幕）

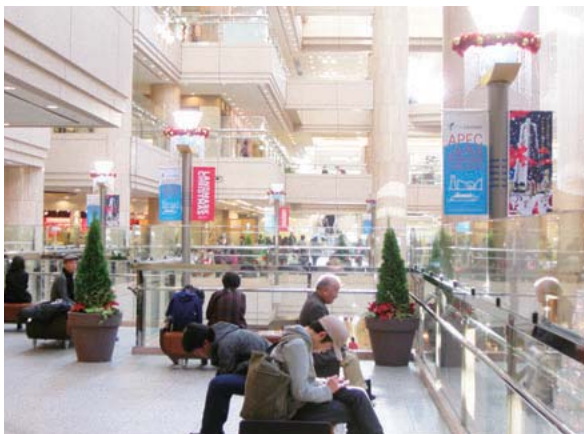


動く歩道（横断幕、懸垂幕）



動く歩道（フラッグ）

【みなとみらい地区】



ランドマークプラザ（フラッグ）



クイーンズスクエア（大懸垂幕、フラッグ）

2 横浜市の取組 ～おもてなし～



パシフィコ横浜周辺・みなとみらい大通り（フラッグ）



パシフィコ横浜周辺・国際大通り（フラッグ）



UR 都市機構仮囲い装飾



グランモール公園美術の広場ライティング

【みなとみらい線】



みなとみらい駅（フラッグ）



みなとみらい駅（横断幕）



馬車道駅 (大懸垂幕)



馬車道駅 (横断幕)

【横浜駅東口】



新都市プラザ (懸垂幕)



ポルタ (フラッグ)

【横浜駅西口】



ジョイナス (フラッグ)



高島屋 (フラッグ)

【横浜駅西口】



横浜シアル (フラッグ)



ザ・ダイヤモンド (ポスター)

【JR】

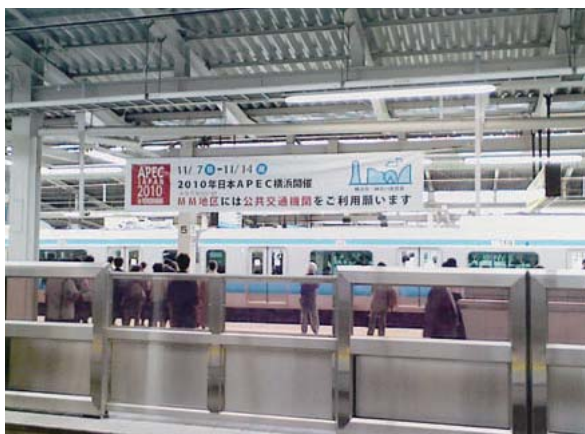


横浜駅 (ホーム階段外壁面シート)



横浜駅 (デジタルポスター)

【京浜急行線】



横浜駅 (横断幕)



上大岡駅 (横断幕)



【市庁舎周辺】



カウントダウンボード、フラッグ



横断幕



大看板



くすのき広場(フラッグ)

【区庁舎】



鶴見区(横断幕)



港北区(横断幕)

インフォメーションデスクの設置

国内外から横浜を訪れる会議関係者の方々の横浜滞在支援を行うため、市内12か所にインフォメーションデスクを設置し、観光・交通等の案内業務を行いました。

1 設置期間・時間

平成22年11月6日(土)～15日(月)、原則として8:00～20:00

2 設置場所

市内12か所

- (1) みなとみらい線みなとみらい駅改札周辺
- (2) クイーンズスクエア横浜 クイーンモール2階
- (3) 桜木町駅前広場
- (4) YCAT第2ロビー
- (5) 新横浜プリンスホテル
- (6) プリーズベイホテル
- (7) ホテルモントレ横浜
- (8) 横浜桜木町ワシントンホテル
- (9) 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
- (10) ローズホテル横浜
- (11) パシフィコ横浜 会議センター2階
- (12) パシフィコ横浜 展示ホール内「JAPAN EXPERIENCE ～ OPEN YOKOHAMA ～」

3 対応スタッフ

原則として、市内6ホテルではAPEC横浜開催市民サポーター2名、パシフィコ横浜に設置した2デスクでは本市職員2名、また、それ以外の4デスクでは市民サポーター2名と本市職員1名が対応にあたりました。



インフォメーションデスク (パシフィコ横浜会議センター2階)



インフォメーションデスク (パシフィコ横浜展示ホール)



APEC横浜開催市民サポーター・ジュニアサポーターとの協働

会議関係者の方々をおもてなしの心で歓迎し、横浜での滞在支援を行うため、「APEC横浜開催市民サポーター」、「APEC横浜開催ジュニアサポーター」の方々に、インフォメーションデスクでの案内業務をはじめ、様々な活動で活躍していただきました。

1 概要

【活動期間】平成22年11月6日(土)～15日(月)

(1) APEC横浜開催市民サポーター

ア 参加人数：137名

【内訳】

(ア) 2002ワールドカップ横浜ボランティアの会 45名

(イ) 横浜コンベンションサポーター 33名

(ウ) 新規サポーター 59名

イ 延べ活動人数：486名

ウ 活動内容：

(ア) インフォメーションデスク(市内10か所)における観光・ショッピング・交通等の案内、視察ツアーの予約受付

(イ) 駅から会議場への誘導案内

(ウ) 「APEC横浜開催ビジネスリーダー交流会」

(11月12日(金)開催)での誘導案内等

(エ) 「APEC横浜開催記念 横浜能楽堂特別普及公演」

(11月13日(土)開催)での誘導案内等

(2) APEC横浜開催ジュニアサポーター

ア 参加人数：590名

イ 参加校数：11校

【参加校】

神奈川大学附属中・高等学校、聖光学院高等学校、洗足学園高等学校、橘学苑中学校・高等学校、

鶴見大学附属高等学校、白鵬女子高等学校、武相高等学校、横浜国際女学院翠陵高等学校、

横浜女学院中学高等学校、横浜清風高等学校、横浜隼人高等学校

ウ 活動内容：横浜駅通路での案内

※ 2002ワールドカップ横浜ボランティアの会

・2002 FIFA ワールドカップ™に横浜市ボランティアとして活動したボランティアを中心に発足したボランティア団体。

・語学対応が可能なボランティアのうち、45名が今回の市民サポーターに参加。

※ 横浜コンベンションサポーター

・財団法人横浜観光コンベンション・ビューローが運営するサポーター登録制度。

・語学対応が可能な語学サポーターのうち、33名が今回の市民サポーターに参加。

※ 新規サポーター

・募集人数60名程度に対し、申込者数405名。

・選考(読解・リスニング)及び英語・日本語による面接選考(会話)により、メンバーを決定。

APEC横浜開催市民サポーター募集案内

横浜が世界の中心になる1週間

2010年11月7日から14日の8日間、日本APEC横浜自前会議をはじめとする様々な会議が横浜で開催されます。21の国・地域の首脳や閣僚(大臣)、経済界の代表、メディアなど約8,000人が横浜を訪れます。

会議関係者の方々をおもてなしの心で歓迎し、「横浜に来てよかった」と言っていたいただけるよう、市民サポーターとして参加してみませんか。

募集人員 60名程度

募集要項・参加申込書

申込期間:平成22年5月13日(木)～6月18日(金)

チェンジ・アクト・アクション

2010年日本 APEC 横浜開催

11月7-14日

新規募集案内

2 市民サポーターオリエンテーション

11月の活動本番に向けて、9月と10月にオリエンテーションを実施しました。

(1) 第1回オリエンテーション

【実施日】平成22年9月10日(金)、18:30~20:30
11日(土)、13:30~15:30

※10日、11日ともに同内容で実施

【実施場所】横浜市立大学金沢八景キャンパス
カメラアホール

【参加人数】10日：68名、11日：68名

【主催】横浜市

- ア 開 会
- イ 主催者挨拶
- ウ APEC2010における取組
(経済産業省通商政策局アジア太平洋地域協力推進
室室長補佐 福永佳史氏【10日】、外務省経済局アジ
ア太平洋経済協力室総務班長 網谷耕介氏【11日】)
- エ APEC横浜開催における神奈川県警察の役割について
(神奈川県警察本部警務部教養課通訳センター
神奈川県警部 鎌田 純氏)
- オ APEC横浜開催及び市民サポーター協働について
- カ 究めて楽しむサポーターのすすめ
(株)インターグループシニアマネージャー 山畑 征四郎氏)
- キ 閉 会



第1回オリエンテーション

(2) 第2回オリエンテーション

【実施日】平成22年10月15日(金)、18:30~20:30
16日(土)、13:30~15:30

※15日、16日ともに同内容で実施

【実施場所】(社)横浜みなとみらい21
プレゼンテーションルーム

【参加人数】15日：74名、16日：65名

【主催】横浜市

- ア 開 会
- イ 主催者挨拶(山田副市長)
- ウ ユニフォーム贈呈式(15日のみ実施)
- エ 市民サポーター業務説明
(APEC横浜開催市民サポーター協働事務局・
横浜市APEC開催推進課)
- オ 閉 会



第2回オリエンテーション

3 市民サポーターユニフォーム

市民サポーターが活動の際に着用したユニフォームは、(株)ダイイチより協賛をいただき、作成しました。

10月15日(金)のオリエンテーションでは、(株)ダイイチ 鈴木一男代表取締役社長より、山田副市長へのユニフォーム贈呈式を実施しました。



(株)ダイイチ 鈴木社長から山田副市長へ



ユニフォームを着用したサポーターの皆さん

※ユニフォームの作成にあたっては、(株)ダイイチより提案をいただき、ユニフォームを作成する際に生じたCO₂排出量をオフセットするため、高知県のオフセットクレジット(J-VER)を活用しました。

4 APEC 横浜開催市民サポーター／ジュニアサポーター キックオフセレモニー

市民サポーター及びジュニアサポーターが一致団結し、会議関係者をおもてなしの心でお迎えするため、サポーター活動初日に、キックオフセレモニーを開催しました。サポーターの激励のため、仙谷内閣官房長官も駆けつけてくださいました。

【実施日】平成22年11月6日(土)
11:00～11:30

【実施場所】クイーンズスクエア横浜1F
クイーンズサークル

【主催】横浜市

- (1) 開 会
- (2) 主催者挨拶 (林市長)
- (3) 市民サポーター代表・ジュニアサポーター代表による「おもてなし宣言」
(横浜市立大学国際総合科学部 松山譲治さん、横浜女学院高等学校 三浦美香さん)
- (4) 横浜市消防音楽隊演奏
- (5) 仙谷内閣官房長官挨拶
- (6) 全体写真撮影
- (7) 閉 会



参加者全員による記念写真



林市長挨拶



おもてなし宣言



仙谷内閣官房長官



横浜市消防音楽隊による演奏

5 サポーターによる活動

市民サポーター及びジュニアサポーターには、11月6日(土)から15日(月)まで、市内10か所のインフォメーションデスクでの観光・ショッピング・交通等の案内業務、駅から会議場への誘導案内、駅での案内業務などで活躍していただきました。



インフォメーションデスク (クイーンモール)



インフォメーションデスク (みなとみらい駅改札周辺)



インフォメーションデスク (桜木町駅前広場設置テント)



インフォメーションデスク (横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ)



インフォメーションデスク (新横浜プリンスホテル)



市民サポーター誘導案内 (クイーンズスクエア横浜)



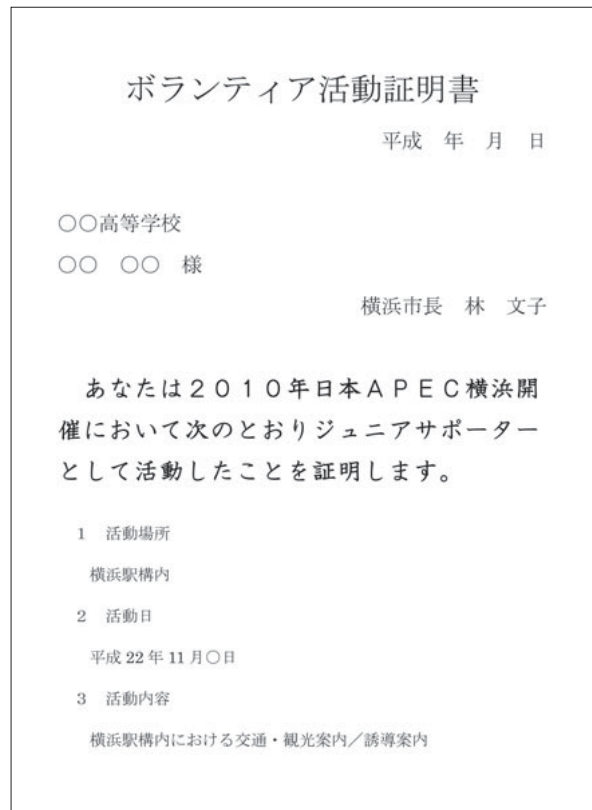
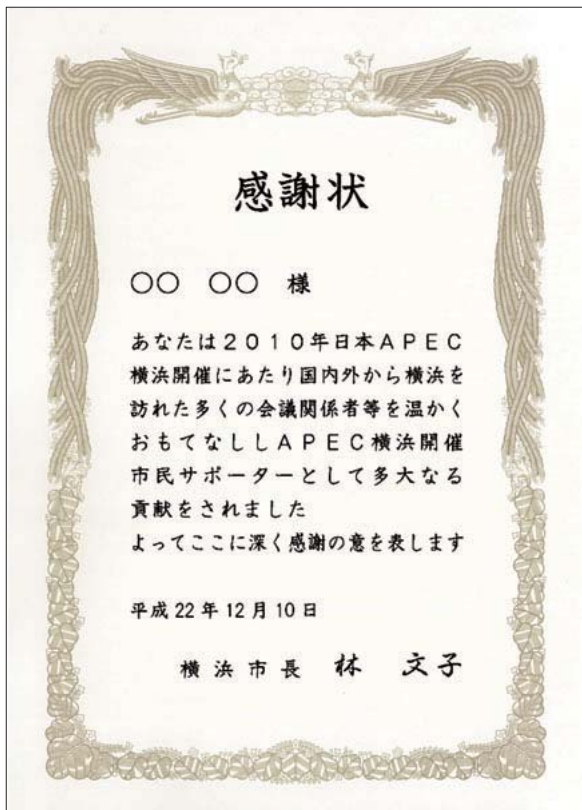
ジュニアサポーター案内（横浜駅通路）



ジュニアサポーター案内（横浜駅通路）

6 感謝状・サポーター活動証明書

活動終了後、市民サポーター 137名に対し、林市長からの感謝状をお渡ししました。
また、ジュニアサポーター 590名に対し、ボランティア活動証明書を発行しました。



閣僚同伴者エクスカーション

開催地として閣僚同伴者をおもてなしし、地元の魅力をアピールしました。

【実施日】 平成22年11月10日(水)

【実施場所】 横浜八景島シーパラダイス

【主催】 視察／横浜市
昼食／横浜市・日本政府

【参加人数】 5名

(チンタナー・ピロム タイ外務大臣夫人、
ファウジア・イスマイル マレーシア国際
貿易産業省事務次官夫人、前原愛里外
務大臣夫人、林市長、山田副市長)



ドルフィンファンタジー前で林市長、山田副市長がお出迎え

- 10:05 ドルフィンファンタジーで市長・副市長が出迎え
- 10:25 アクアミュージアム視察
- 11:30 ふれあいラグーン視察
- 12:15 前原外務大臣夫人 レストラン入り口で出迎え
昼食
記念撮影
金沢茶道会による呈茶
- 13:45 園内バスでセンターハウス下へ移動
マリングート下で市長からお客様へ記念品贈呈
- 13:50 出発



ドルフィンファンタジーでウェルカムメッセージ



レストラン内の特設呈茶席で記念撮影(前列左から、林市長、前原外務大臣夫人、イスマイル マレーシア国際貿易産業省事務次官夫人、ピロム タイ外務大臣夫人)



アクアミュージアム、ジンベエザメ水槽前



ふれあいラグーンで白イルカにタッチ



ふれあいラグーンでアシカのパフォーマンス



レストラン前でセイウチがお迎え



レストラン前でペンギンと記念撮影



八景島シーパラダイス内レストラン「ラグーンヒル」にて昼食会
(前原外務大臣夫人挨拶)



昼食会で林市長からスピーチと乾杯



昼食後の記念撮影(一番右は布留川(株)横浜八景島社長)

APEC横浜開催記念 横浜能楽堂特別普及公演

CEO同伴者プログラム（主催：（社）日本経済団体連合会）の参加者に対するおもてなしとして、関東最古の能舞台をもつ横浜能楽堂で、日本の伝統芸能である能・狂言の公演を実施しました。外国の方にもわかりやすい演目で、無線レシーバーを通して英語の解説も行いました。

【実施日】平成22年11月13日（土）、14：30～15：30


【実施場所】横浜能楽堂

【主催】横浜能楽堂（（財）横浜市芸術文化振興財団）
2010年APEC横浜開催推進協議会

【後援】横浜市民局

【参加人数】一般鑑賞者 370名
CEO等同伴者 23名

【演目】狂言「呼声」（大蔵流）山本 東次郎 / 能「羽衣」（観世流）関根 祥六



**Celebrating the APEC Summit
in Yokohama**

Celebrating the APEC Summit in Yokohama
A Special Performance at the Yokohama Noh Theater
2:30 p.m., Saturday, November 13, 2010 (Doors open at 1:30 p.m.) Performances will end at 3:30 p.m.
Kyogen *Yobikoe* (Tricked by a Rhythm, Okura style) Yamamoto Tojiro
Noh *Hagoromo* (The Feather Robe, Kanze style) Sekine Shoroku
Ticket prices: S-class ¥4,000, A-class ¥3,500, B-class, ¥3,000

English-language audio guides will be available.

Ticket sales: Start at noon on Saturday, September 25, 2010 (by phone or Web only, on the first day). Note: If tickets are sold out on the first day, none will be available at the box office.
Reservations & inquiries: Yokohama Noh Theater 27-2 Momijigaoka, Nishi-ku, Yokohama 220-0044 Phone: 043-263-3055 URL: <http://www.ynf.or.jp/hohgaku/>
Sponsors: Yokohama Noh Theater (Yokohama Arts Foundation), APEC 2010 Promotion Council of Yokohama Support: Yokohama Civic Affairs Bureau.

リーフレット（表）

Celebrating the APEC Summit in Yokohama
A Special Performance at the Yokohama Noh Theater

For this special performance of Kyogen and Noh to celebrate the APEC leaders' meeting in Yokohama, English-language audio guides will be provided. The Noh play *Hagoromo* (The Feather Robe) is based on the legend of a beautiful celestial maiden who visits the mortal world and falls in love. It is one of the most popular plays in the Noh repertoire and will be performed in the Kanze style by Sekine Shoroku. The Kyogen performance *Yobikoe* (Tricked by a Rhythm) is a tongue-twister famous for its complex rhythms in a form of entertainment traditional in samurai households. It will be performed by Yamamoto Tojiro in the Okura style.

Kyogen *Yobikoe* (Tricked by Rhythm) (Okura style)
Shite (Taro Kaja) Yamamoto Tojiro
Ado (Master) Yamamoto Norishige
Ado (Jiro Kaja) Yamamoto Noritoshi
Stage assistant Yamamoto Norihide

Noh *Hagoromo* (The Feather Robe) (Kanze style)
Shite (Celestial Maiden) Sekine Shoroku
Waki (Hakuryu, a fisherman) Hosyo Kan
Wakizure (companion fisherman) Norihisa Hidetshi
Mikuryu Saigo

Transverse flute Isso Hisayuki
Shoulder drum Yokoyama Haruaki
Hip drum Kakihara Takashi
Stick drum Mishima Genzaro
Stage assistants Kanze Yasuhide
Ueda Kimitake

Chorus Sekine Tomotaka
Takanashi Ryoichi
Takeda Naohiro
Asami Stajigorshi
Okamura Masahiro
Shimizu Yoshinari
Sakai Otataka
Sekine Yoshimaru

Sekine Shoroku
Born in 1936. Trained with his older brother Sekine Haruhiko and with Kamei Sakuro XIV. Designated the holder of an important intangible Cultural Property (Collective Recognition) in 1977 and 1981. He received awards at the National Arts Festival organized by the Agency for Cultural Affairs. In 1995, he was awarded the Medal with Purple Ribbon, and 2002 he received the Japan Art Academy Award.

Yamamoto Tojiro
Born in 1937. The son of the late Yamamoto Tojiro III. Designated the holder of an important intangible Cultural Property (Collective Recognition) in 1994. He was awarded an Honorable Mention at the National Arts Festival. Then went on to win the Minister of Culture's Award in 1992. In 1994, he received the Aomori Hoses Memorial Noh Award from Hoses University, and in 1998 was awarded the Medal with Purple Ribbon.

Nogaku and the Yokohama Noh Theater
Nogaku is a traditional Japanese art form whose history stretches back 600 years. It combines Noh, which has elements that resemble Kabuki and has been called a Japanese combination of opera and musical theater, and Kyogen, a form of comic dialogue. This combined theatrical form was the first in Japan to be registered as a "Masterpieces of the Oral and Intangible Heritage of Humanity" by UNESCO. The Yokohama Noh Theater's stage, which is more than 130 years old, is the oldest Noh stage in the Kanto region. We hope you will take advantage of this opportunity to appreciate a performance of traditional Japanese dramatic arts on this historic stage.

APEC JAPAN 2010 in YOKOHAMA
Change and Action
Nov. 7-14

Phone note
* The theater has no parking. Please come by bus or taxi.
* The program and performance are subject to change.
* Bringing food or beverages into the theater is strictly prohibited.

By Train
* To attend, walk from Sakuragicho Station on the JR Sagami Line and Yokohama Station on the Tokaido Shuto Line.
* To attend, walk from the Minato Mirai Station on the Minato Mirai Line.
* To attend, walk from Minato Mirai Station on the Minato Mirai Line.
* The theater is a five-minute bus ride from each of these stations.

By Bus
* The closest walk from the Toei 4-chome stop (Minatoguchi route 100).
* To attend, walk from the Minatoguchi stop (Minatoguchi route 8, 10, 18, 20, 100, or 100).
* To attend, walk from the Minato Mirai stop (Minato Mirai route 10, 100, or 100).
* To attend, walk from the Minato Mirai stop (Minato Mirai route 10, 100, or 100).

Map
Map showing the location of the Yokohama Noh Theater and surrounding areas, including the JR Sagami Line, JR Tokaido Shuto Line, and Minato Mirai Line.

Seating Plan
Diagram of the theater's seating arrangement, showing the location of the stage and the audience seating areas.

Yokohama Noh Theater

リーフレット（裏）



人間国宝級の演者による幽玄の世界を堪能



小松崎副市長が CEO 等同伴者をお出迎え



主催者である林会長（市長）による挨拶



お土産として、能楽堂オリジナルお香セット「加賀の三香」とポストカードを、秋らしい柄の巾着に入れて贈呈

首脳同伴者プログラム

首脳同伴者プログラムが、13日(土)に鎌倉、14日(日)に横浜で開催されました。

14日は、7つの国・地域の首脳同伴者が、三溪園を視察。横浜市指定有形文化財「鶴翔閣」において、コシノヒロコさんデザインによるガウンドレスに着替え、茶道などの日本文化を体験されました。

【実施日】平成22年11月14日(日)

【実施場所】三溪園

【主催】日本政府

【参加人数】16名(首脳同伴者7名、大使夫人4名、その他3名、菅総理大臣夫人、林市長)

【内容】9:20 三溪園視察(市長挨拶、ガウンドレスでの記念撮影、茶道体験)

11:25 JAPAN EXPERIENCE 視察(パシフィコ横浜展示ホール内) ※詳しくは116ページ参照

12:00 昼食会



林市長によるお出迎え①



林市長によるお出迎え②



林市長によるお出迎え③



菅総理大臣夫人によるお出迎え



菅総理大臣夫人によるお手前



茶道体験の様子



ガウンドレスで記念撮影

お出迎え

1 市長等によるお出迎え

市長、副市長が横浜に宿泊したすべての参加国・地域の首脳・閣僚等をホテル到着時にお出迎えしました。開催地の代表として、横浜にいらっしやったことを歓迎し、直接おもてなしさせていただきました。



グエン・ミン・チエット ベトナム国家主席をお出迎え



ジュリア・ギラード オーストラリア首相をお出迎え



フェリペ・カルデロン・イノホサ メキシコ大統領をお出迎え

横浜に宿泊した18の国・地域之首脳をお出迎え(順不同)

お出迎え日	国・地域名	首脳
11/11(木)	中国香港	曾蔭権行政長官
	マレーシア	タンスリ・ムヒディン・ヤシン副首相
	パプアニューギニア	ドン・ポリエ副首相
	チャイニーズ・タイペイ	連戦国家政策研究基金会董事長
	ベトナム	グエン・ミン・チエット国家主席
11/12(金)	オーストラリア	ジュリア・ギラード首相
	カナダ	スティーブン・ハーパー 首相
	チリ	セバステアーン・ピニェラ・エチェニケ大統領
	中国	胡錦濤国家主席
	メキシコ	フェリペ・カルデロン・イノホサ大統領
	ニュージーランド	ジョン・キー首相
	ペルー	アラン・ガルシア・ペレス大統領
	フィリピン	ベニグノ・アキノ 3世大統領
	ロシア	ドミトリー・アナトリエヴィッチ・メドヴェージェフ大統領
	シンガポール	リー・シェンロン首相
	米国	バラック・オバマ大統領
11/13(土)	韓国	李明博大統領
	タイ	アピシット・ウェチャチワ首相

2 市長ウェルカムメッセージカード

横浜に宿泊した会議関係者やメディア関係者等に対して歓迎の意を表すため、「市長ウェルカムメッセージカード」を作成し、ホテルにお届けしました。



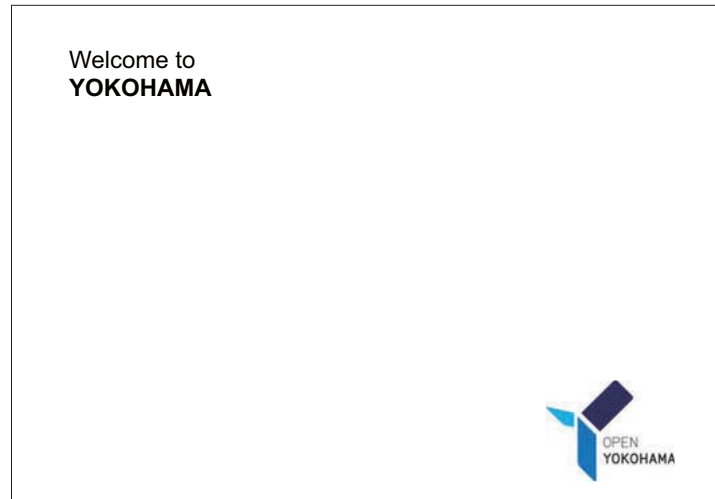
記念品の贈呈

2010年日本APEC横浜開催を記念し、APEC参加国・地域に対して「横濱増田窯製 オリジナルAPEC横浜開催記念プレート」を記念品として贈呈しました。

また、歓迎の気持ちや「横濱増田窯製 オリジナルAPEC横浜開催記念プレート」のデザインの説明などを書いたグリーティングカードを合わせて贈呈しました。



横濱増田窯製 オリジナルAPEC横浜開催記念プレート



グリーティングカード (表面)

(英文)

Welcome to Yokohama!

Please accept this ceremonial plate expressing my sincere gratitude for your visit to our city, as well as the heartfelt welcome from our 3.68 million citizens.

Depicted on the plate is Minato Mirai 21, the site of the APEC Japan 2010 Economic Leaders' Meeting, with Mt. Fuji standing in the background.

The Minato Mirai 21 Area, offering fascinating glimpses of history and stunning waterfront scenery, symbolizes Yokohama as an international city.

In Yokohama, there is a saying that it takes just three days of living in the city to become a "hamakko", which means a native of Yokohama. This is because our citizens have an open mind and free spirit, welcoming visitors as our friends and assimilating new things.

We *hamakkos* are pleased to welcome you with cordial hospitality. I sincerely hope that you will have a wonderful stay in Yokohama.

Fumiko Hayashi Mayor of Yokohama

(日本文)

横浜へようこそいらっしゃいました。

この地を訪れていただいたことに感謝するとともに、368万市民の歓迎の気持ちを込めてオリジナルプレートをご贈らせていただきます。

このプレートには、富士山を背景に、APEC首脳会議の会場であるみなとみらい21地区が描かれています。

みなとみらい21地区は、歴史やウォーターフロントの景観を活かした、国際都市・横浜を象徴するエリアです。

横浜には"三日住めばハマっ子"という言葉があります。それは、お越しになる方を友人として迎え入れ、新しいものを取り入れる開放的で自由な気風があるからです。

このような"ハマっ子"がおもてなしの心で皆様をお迎えいたします。横浜での滞在が素晴らしいものとなるよう、心からお祈りしています。

横浜市長 林 文子